

## 第125回人口・社会統計部会 議事概要

1 日時 令和3年7月8日(木) 9:58～11:00

2 場所 Web会議

3 出席者

**【委員】**

津谷 典子 (部会長)

**【臨時委員】**

宇南山 卓、川口 大司

**【審議協力者】**

北村 弥生 (長野保健医療大学特任教授)、内閣府

**【調査実施者】**

厚生労働省政策統括官付参事官付世帯統計室：細井室長ほか

**【事務局(総務省)】**

統計委員会担当室：萩野室長、吉野政策企画調査官

政策統括官(統計制度担当)付統計審査官室：内山統計審査官、森調査官ほか

4 議題 国民生活基礎調査の変更について

5 議事概要

- 答申(案)について、津谷部会長から、事項ごとに説明がなされ、一部修正することを前提に部会として了承された。修正後の答申(案)について、7月開催予定の統計委員会に報告することとされた。

委員等からの主な意見等は、以下のとおり。

(1) 今回予定されている計画の変更

- ・ 特段の異論はなかったため、御了承いただいたと整理したい。

(2) 前回答申における「今後の課題」への対応状況について

- ・ 「2(1)回収率向上に向けた更なる取組の推進等」に記載された厚生労働省の取組が、負担軽減だけを念頭に置いたものであるかのような記載ぶりとなっているので、見出しに合わせて、回収率の向上に向けた取組であることも明確にしてほしい。

⇒ 御意見を反映するよう、文章の修正を考えたい。

(3) 今後の課題

- ・ 「3(3)オンライン調査の効果の検証等」について、今の記載ぶりだと検証す

べき課題が具体的に分かりにくい。何を検証すべきかを明確にしてほしい。

- ・ 前回答申時の課題対応として、「回収率向上の取組」について、様々な取組が行われることから、その効果を検証することも記載してはどうか。

⇒ オンライン調査の導入は、回収率向上の一環でもあるので、4つ目の課題として追記するのではなく、3（3）の中で合わせて記載してはどうか。

⇒ 3（3）の見出しを、「回収率向上に向けた取組の効果検証」のように改めるとともに、検証事項について、より具体的な記載をする方向で修正したい。

- ・ 回収率向上の取組を行う一方で、得られたデータについて、どのように補正するかということも課題の一つだと思う。推計手法について、まだ議論の余地があるのではないか。

⇒ 厚生労働省において「国民生活基礎調査の改善に関するワーキンググループ」を開催し、長期（令和元年6月～3年3月）にわたり、現行の方法と代替する方法の比較検討が詳細に行われたものの、現行の方法を改めるべきという結論が得られなかった。

⇒ 推計方法については、前回答申を受けて、様々な角度からの検証が既になされているところであり、現状においては、新たに行われる回収率向上の取組に傾注いただきたいと考えている。

#### （4）取りまとめ

- ・ 答申の全体評価としては、今回の変更を承認して差し支えないとしつつ、一部計画を変更する必要があるという内容で、取りまとめたい。また、本日頂いた御意見を踏まえ、答申案を修正するので、後日、確認をしていただくが、最終的な取扱いについては、部会長に御一任いただきたい。

## 6 今後の予定

取りまとめた答申案については、令和3年7月末に開催予定の統計委員会において報告することとされた。

（以 上）